

(27) ご ぼ う

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 黒斑病 <i>Ascochyta phaseolorum</i>	1. 連作を避ける。 2. 窒素肥料の過剰施肥を避け、適正施肥をする。	発 病 初 期	M4	オ ー ソ サ イ ド 水 和 剤 8 0
2 うどんこ病 <i>Sphaerotheca fusca</i>	1. 多肥栽培を避ける。	発 病 初 期	3 M5	ト リ フ ミ ン 水 和 剤 ダ コ ニ ー ル 1 0 0 0
3 黒斑細菌病 <i>Xanthomonas campestris</i> pv. <i>nigromaculans</i>	1. 連作を避ける。 2. 窒素過多や多肥栽培を避ける。 3. 密植栽培は避ける。 4. 被害葉は除去し、処分する。 5. 病葉は圃場外に持ち出し、処分する。	発 病 初 期	M1 24・M1 24・M1	Z ボ ル ド ー (混) カ ス ミ ン ボ ル ド ー (混) カ ッ パ ー シ ン 水 和 剤
4 黒あざ病 <i>Rhizoctonia solani</i>	1. 土壌湿度が高くないように、排水に努める。 《薬剤使用の特記事項》 1. ガスタード微粒剤、バスアミド微粒剤は、Ⅲ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。	土 壌 消 毒	－ －	ガ ス タ ー ド 微 粒 剤 バ ス ア ミ ド 微 粒 剤
		播 種 前	14	リ ゾ レ ッ ク ス 粉 剤
		播 種 時	3	モ ン ガ リ ッ ト 粒 剤
5 菌核病 <i>Sclerotinia sclerotiorum</i>	1. 連作は避ける。 2. 発病株は早期に発見し、菌核ができる前に抜き取って処分する。 3. 排水を良好にし、過湿を避ける。 4. 密植したり、過繁茂にならないようにする。 5. 窒素過多にしない。 6. 夏期に湛水可能な圃地は、高温時に20日間以上湛水すると、菌核が死滅するので有効である。	発 病 初 期	1 2	ト ッ プ ジ ン M 粉 剤 D L ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤
6 アブラムシ類	1. 圃場及び周辺の雑草は防除する。	播 種 時	4A	ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤
		発 生 期 (7～10日おきに2～3回)	1A 1B 1B 3A 3A 4A 4A 4C 29	ラ ン ネ ー ト 4 5 D F オ ル ト ラ ン 水 和 剤 オ ル ト ラ ン 粒 剤 ア デ ィ オ ン 乳 剤 ア グ ロ ス リ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル ア ド マ イ ヤ ー 1 粒 剤 ト ラ ン ス フ ォ ー ム フ ロ ア ブ ル ウ ラ ラ D F
7 ネキリムシ類	1. 被害株周辺を軽く掘り、幼虫を見つけしだい捕殺する。	播 種 時	3A	フ オ ー ス 粒 剤
		播種時～ 生育初期	1B 1B 3A	ネ キ リ エ ー ス K ト ク チ オ ン 細 粒 剤 F ガ ー ド ベ イ ト A
8 ゾウムシ類	1. 掘残しのごぼうから発芽した新葉は、早めに除去する。 2. 間引き、追肥、土寄せなどの農作業時に成虫を発見し、捕殺する。 3. 連作圃場は被害が多発するので、イネ科作物などとの輪作を行う。 《薬剤使用の特記事項》 1. トクチオン細粒剤Fはヒョウタンゾウムシ類に登録がある。	発 生 期	1B 15	ト ク チ オ ン 細 粒 剤 F ノ ー モ ル ト 乳 剤

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ごぼう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
9 センチュウ類	1. 被害株の間引きを行う。 2. 輪作を行う。 《薬剤使用の特記事項》 1. キルパー、クロールピクリン、ドロクロール、クロルピクリン錠剤は、Ⅲ－14. 土壌病害虫の防除の項参照。 2. キルパーはネグサレセンチュウにのみ登録がある。 3. ネマトリンエース粒剤はネグサレセンチュウとネコブセンチュウに登録がある。	土 壌 消 毒	8F 8B 8B 8B	キ ル パ ー ク ロ ー ル ピ ク リ ン ド ロ ク ロ ー ル ク ロ ル ピ ク リ ン 錠 剤
		播 種 前	1B	ネ マ ト リ ン エ ー ス 粒 剤

(28) 葉ごぼう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬 剤 防 除		
		防除時期	RACコード	薬 剤
1 うどんこ病 <i>Sphaerotheca fusca</i>	1. 窒素肥料の過多は本病の発病を助長するので、施肥基準に従って適正に施用する。 2. 昼夜の温度差が大きくなると発病が多くなる。	発 病 初 期	11	ア ミ ス タ ー 2 0 フ ロ ア ブ ル
2 菌核病 <i>Sclerotinia Sclerotiorum</i>	1. ポリマルチや敷わらを行う。 2. 多発圃場では、収穫後に湛水し、土壌中の菌核を死滅させる。 3. 連作を避ける。	発 病 初 期	2	ロ ブ ラ ー ル 水 和 剤
3 黒条病 <i>Itersonilia perplexans</i>	1. 健全な種子を使う。 2. 密植したり、過繁茂にならないようにする。 3. 病葉は圃場外に持ち出し、処分する。	発 病 初 期	3	ラ リ ー 水 和 剤
4 アブラムシ類	1. 圃場の周辺に防虫ネットを高さ1.3mぐらいにはったり、シルバーポリマルチ、シルバーストライプマルチ、シルバーテープをするとアブラムシの飛来が少ない。 2. 施設栽培では、ハウス開口部に防虫ネット（1mm目合以下）をはり、成虫の飛来を防止する。 3. 周辺雑草を処理する。	播 種 時	4A	ス タ ー ク ル 粒 剤
		発 生 初 期	3A 4A 4A	ア デ ィ オ ン 乳 剤 ア ド マ イ ヤ ー フ ロ ア ブ ル ス タ ー ク ル 粒 剤
5 ネキリムシ類	1. 被害株周辺を軽く掘り、幼虫を見つけたら捕殺する。	播種時～ 子葉展開期	1B	ネ キ リ エ ー ス K
6 ハスモンヨトウ	1. 卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 2. 施設栽培の場合、飛び込み防止のため防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。	発 生 初 期	13	コ テ ヅ フ ロ ア ブ ル

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する